

在シドニー総領事通信

第 42 回 北部準州におけるビジネス機会

令和 3 年（2021 年）6 月 18 日

北部準州（The Northern Territory/NT）に行ったことはありますか？人口こそ約 24 万 6 千人で全人口の約 1 %ですが、面積では 135 万 km²と西オーストラリア州、クイーンズランド州に続き第 3 位です。準州の首都は北岸のダーウィンで、観光名所のウルルも北部準州にあります。

本年 2 月、山上駐豪大使の北部準州公式訪問に同行した際、一連の行事や歴史・ビジネス・安全保障の 3 つの面での深い関わりについて、総領事通信で皆様に報告させていただきました。

その訪問のフォローアップの一環として、4 月 28 日にシドニーで北部準州政府・当館共催のビジネスセミナーを開催し、6 月 2 日～4 日には私がダーウィンを訪ねて北部準州の政府高官と更に協議を行いました。

今年に入ってから北部準州との頻繁な往来と協議を通じて、北部準州のビジネス機会は日本として更に活用できると強く感じました。今回の総領事通信では、北部準州の日本にとっての様々なビジネス機会について、最新の状況をお伝えしたいと思います。これが、日本と北部準州双方の官民の関係者の皆様にとって、具体的な連携や協力を進めるための契機になれば幸いです。



北部準州ビジネスセミナー
(2021年4月28日)

●北部準州ビジネスセミナー

4月28日、北部準州政府と在シドニー日本国総領事館は共催で、日本企業向けセミナー「北部準州における天然ガス・水素・重要鉱物の投資機会」を開催しました。本件は、2月の山上大使の北部準州公式訪問に際してのビジネス協議で、北部準州の投資機会を日本企業にとって特に将来性がある分野に絞り込み、シドニーで直接説明することが有益との点で意見が一致し、実現に至ったものです。会場では37名、オンラインでは43名の関係者が参加しました。

今回のセミナーは、内容が大変充実したものになりました。北部準州からはコーワン投資統括官をヘッドに、政府関係部局に加え天然ガス・重要鉱物企業も含めて10名以上が参加し、分野毎の説明に加え、ビートルー盆地の天然ガスやノーランズ地区のネオジウム・プラセオジウム (NdPr) など個別投資案件の最新状況を説明しました。日豪政府関係機関によるビジネス支援の説明もありました。



従来の液化天然ガス、さらに再生可能エネルギーへのアクセスが、

北部準州政府作成の北部準州のビジネス機会に関する日本語字幕付き動画
(2021年4月28日、[YouTube へのリンク](#))

今回のセミナーで強い印象を受けたのは、北部準州政府がセミナー用に、日本語字幕付きの動画、そしてパネリストの略歴や各分野の概要を盛り込んだ日本語資料まで用意していたことです。プレゼンテーション資料も、大半が英語に加えて日本語でも作成いただきました。

このセミナーの資料と動画は、全て当館ウェブサイトに掲載しています ([リンク](#))。最新かつ豊富な情報が気軽に入手できますので、是非ご活用ください。

セミナー終了後のネットワーキング・レセプションでは、会場参加者が和やかに交流を深めていました。情報の交換・共有に加え、このような形で人的関係を構築していくことは、将来のビジネス関係の発展に向けて何よりも大事なものと感じました。



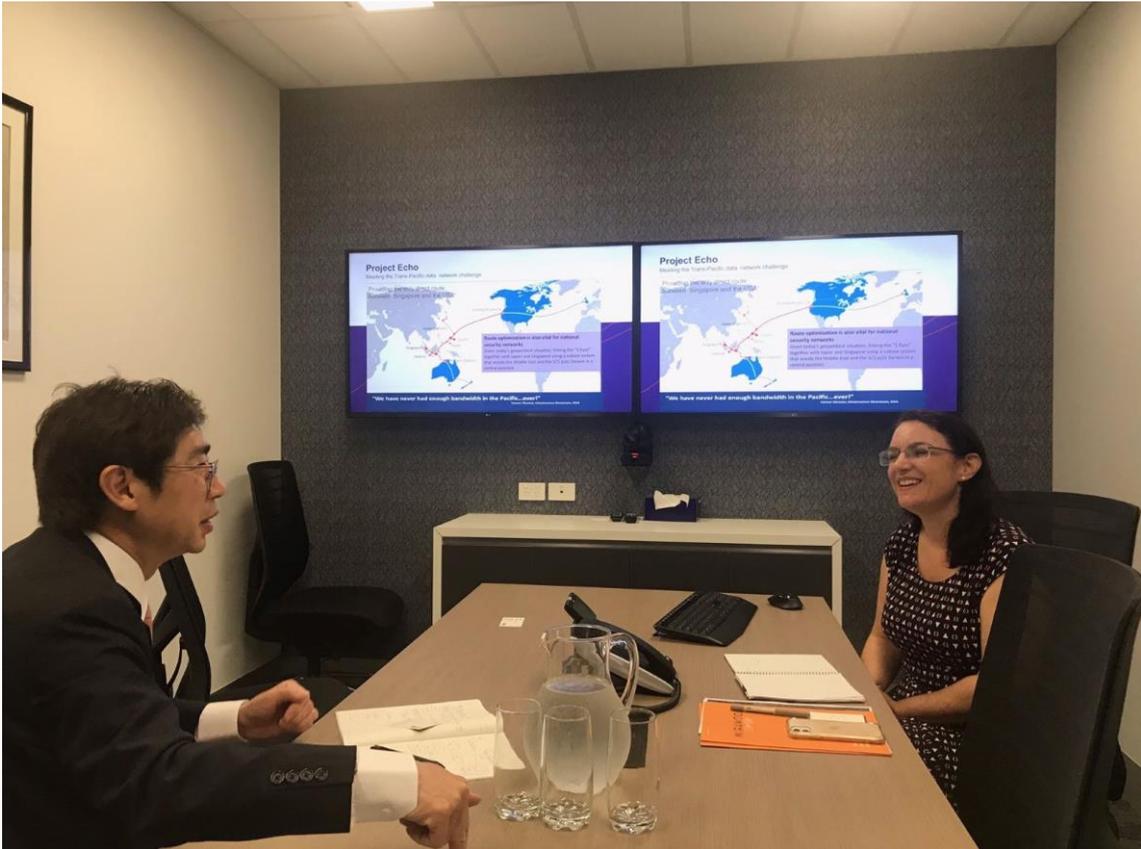
マニソン北部準州副首席大臣との会談
(2021年6月2日)

●北部準州政府との協議

このセミナーのフォローアップと他の分野のビジネス促進のために、6月2日～4日にダーウィンに出張し、北部準州政府関係者と意見交換を行いました。

マニソン北部準州副首席大臣は、鉱物資源やアグリビジネス・養殖業をはじめ幅広い分野の担当大臣を兼務しています。昨年10月に海老養殖事業予定地の共同視察に続き、今回初めてオフィスで会談することができました。先日のセミナーの成果を報告し、海老養殖事業、海底ケーブル、宇宙、観光、留学等についても一緒に後押ししていくことで意見が一致しました。

以前は鉱物資源、今はデジタル開発などを担当するカービー大臣とも今回再度会談し、進展を報告しました。また、シドニーのセミナーを統括した首席大臣・内閣府のコーワン投資統括官とも再会し、今後の段取りについて打ち合わせを行いました。



ジョージ北部準州首席大臣内閣府宇宙デジタル課長との協議
(2021年6月3日)

北部準州は、宇宙分野やデータセンターのビジネスにも力を入れています。今回、北部準州政府で宇宙とデジタルを担当しているジョージ課長と初めてお会いして協議を行いました。

北部準州北東岸にあるアーネム宇宙センターには豪州初の民営のロケット発射施設があり、NASA が発射を計画しています。また、中央部のアリススプリングスには NASA が保有し豪 CSIRO が運営する気球実験施設があり、JAXA も利用しています。更に、衛星とデータをやりとりする地上基地も、幾つかの会社が投資して設置しています。

デジタル分野では、太陽光エネルギーと広大な土地をふんだんに活用できる利点を生かして、データセンターの誘致に取り組んでいます。米カリフォルニア州とグアム・インドネシア・シンガポールを結ぶ海底ケーブル構想（プロジェクト・エコー）がダーウィンにも延伸される可能性についてもお話を伺いました。



北部準州豪日協会（AJANT）の懇親会
（2021年6月2日）

●北部準州豪日協会（AJANT）のネットワーク

ダーウィンの良いところは、日本関係者のコミュニティの基盤がしっかりと形成・発展していることです。今回、役員の皆様のみならず広く会員が参加する懇親会に同席させていただきました。

会場のGo-Sushi Xは、初代経営者がAJANTの創立者の一人だったとのことです。また、当地随一のINPEX社や、日豪和解の象徴となっているダーウィン連合教会の関係者、そして琴の演奏を学んでいる人や、日本に住んだことがある人とそのご家族などが集まっていました。長年の活動を通じて日本人と豪州人の双方が会員となり、相互に信頼でつながっているネットワークになっていることを実感しました。

9月中旬にAJANTがダーウィン日本祭りを主催予定と伺い、再度ダーウィンを訪問する旨お約束しました。また、来年のダーウィン空爆80周年に向けての取組についても伺いました。



北部準州議事堂ホール
(2021年6月2日)

●北部準州と日本のビジネス関係強化に向けて

私はこれまでダーウィンに5回、アリススプリングスとウルルに1回と、北部準州に計6回出張し、先住民と手を携えて広大な土地と豊富な資源を最大限に生かそうとする北部準州の取組を見てきました。

人口が少なく政府が小規模なので、関係者との意思疎通が容易で意思決定も迅速です。また、アジアに最も近いという地の利もあり、文化や気候、雰囲気もアジアに近いと感じられます。その一方で、豪州ならではの合理性と透明性もあります。親日的で、日本語学習者の比率も豪州国内で随一です。

今回ビジネスセミナーで取り上げられた天然ガス・水素・重要鉱物のみならず、海老養殖事業、海底ケーブル、宇宙、観光、留学をはじめ幅広い分野で、日本にとっての大きなビジネス機会を、これからしっかりと伝えていきたいと思えます。そのような取組を通じて、日本と北部準州双方の官民の関係者の皆様が具体的な連携や協力を進めるために、微力ながら後押しをさせていただければ幸いです。

北部準州政府・在シドニー日本国総領事館共催セミナー「北部準州における天然ガス・水素・重要鉱物の投資機会」（2021年4月28日）

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20210428seminar.html

北部準州政府作成の日本語字幕付き動画

https://youtu.be/4b_MgPYqBQE

北部準州政府作成のセミナー日本語資料

<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/files/100181454.pdf>

北部準州への投資（英語）

<https://theterritory.com.au/invest>

北部準州の宇宙分野のビジネス機会（英語）

<https://theterritory.com.au/invest/key-sectors/space>

北部準州日豪協会（AJANT）

<https://www.ajant.org/>

総領事通信第35回 ダーウィンと日本：歴史・ビジネス・安全保障の絆（2021年3月4日）

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/CGKiya_35newsJ.pdf

総領事通信第27回 北部準州と日本：ビジネスと交流の深化と拡大に向けて（2020年11月6日）

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/CGKiya_27newsJ.pdf

（以上）